

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 27-010

PDCA	事務事業名	小学校施設長寿命化計画策定事業	部課等名	教育部 学校教育課 総務担当	担当	田中(賢)	
					内線等	522	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第1節 学校教育の充実 基本施策： 1. 義務教育 単位施策： (5) 安全・安心な学校づくりの推進 個別施策： ①校舎、体育館等の改修改築					
	根拠法令等						
	対象・目的	インフラ長寿命化基本計画（総務省策定）で令和2年度までに策定が求められる「個別施設計画」であり、小学校施設の適切な更新と維持管理を実現するために策定する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	文部科学省の策定ガイドラインに即した形で内容精査するとともに、上位計画である半田市公共施設総合管理計画との整合を図り、パブリックコメントを行ったうえで計画を策定する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		計画策定業務			1.0	式	
		事業費			8,738.0	千円	
		人件費			621.0	千円	
		総事業費			9,359.0	千円	
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		事業進捗率（計画策定業務委託）	実績値			100.0	%
			目標値			100.0	
			実績値				
		目標値					
		実績値					
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ない	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B					
		各学校施設の老朽化等の実態を踏まえ、学校に求められる機能を確保しつつ、中長期的な維持管理・更新等に係るライフサイクルコストの削減や予算の平準化を図っていくための方針等を定めた。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	終了				
		令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位
			廃止				